

令和6年度徳山高専テクノ・アカデミア産学連携研究会テーマ一覧

※印は、各研究代表者

種別	研究会テーマ 研究の概要	参画企業・機関	高専側研究者	採択額
継続 平成29年度～	ものづくりカアップ研究会パート6 本研究会では、パート1から続く活動においてSociety5.0 社会を実現する鍵となる Connected Industries 社会へ適応するため、IoT の基礎をより実用に近い形で理解する目的でRaspberry Piなどの電子計算装置および周辺センサ機器などを用いたデバイスの開発を行い、各拠点の活用案に沿った情報計測および無線ネットワーク経由のIEEE1888規格を通じた時系列データを記録する実証実験により機器の設置に係るノウハウや収集されたデータの分析等の情報交換を行ってきた。本研究会との共同開催で山口県産業技術センター主催のスマート☆づくり研究会の「パズルde見える化ワークショップ」の山口県東部地域の開催拠点としても機能することで、より広い地域に対してものづくりやIoTの基礎に触れる場を展開する。本年度は自分たちがローコードで行えるデータ収集およびデータ活用について理解を深め、実際の運用について検討を進める。	山口県産業技術センター	※池田 将晃	100,000円
継続 令和3年度～	周南地域の偉人顕彰に関わる研究会4 令和3年度から研究会を立ち上げ、周南地域の偉人として、毛利元次、児玉源太郎、玉井喜作を取り上げ、「研究会報告書」にまとめた。成果は山口県立博物館永久保存図書に指定されている。平成6年度は、これまでの成果に加え、産業史的な視点で周南地域の企業創業者を題材とする予定である。	周南市美術博物館 株式会社中特ホールディングス	※目山 直樹 谷本 圭司	100,000円
継続 令和3年度～	周南地域地盤防災研究会 「周南地域地盤工学セミナー」を活用して、地盤防災に関する話題をお互いにこれまで提供しており、周南地域を中心とした学校関係、コンサルタント、施工業者等の参加があった。地盤防災をテーマとし、様々な事業・研究の実例を中心に広く意見交換を行い、その可能性について言及していく。	株式会社ソイル・ブレーション 多機能フィルター株式会社	※荒木 功平 桑嶋 啓治 片山 光亮 福田 靖	100,000円
継続 令和3年度～	働きながら資格を獲る2024 技術士部会 2022年度から実施中の研究会を継続・実施する。働きながら資格を獲るための情報共有、受験準備、受験指導を実施するための研究会組織を運営する。テクノセンターの多目的研修室で学習会、講演会を実施するとともに、構成メンバーの事業所で出前講座を行い、対面指導を行う予定である。このノウハウを、テクノアカデミア事業として、会員に共有する予定である。2023年度は1名の合格者を出している。	株式会社ソイル・ブレーション 株式会社異設計コンサルタント 株式会社山口建設コンサルタント	※目山 直樹 河野 拓也	100,000円
継続 令和3年度～	働きながら資格を獲る2024 建築士部会 山口県内企業の幹部職員及び在籍する建築士、建築士資格取得を目指す若手職員を対象に、働きながら資格を獲るための勉強会を行う。幹部社員については、近年の建築士試験の傾向と対策を理解して頂き、会社として若手職員の資格取得のバックアップの可能性の検討を行う。	洋林建設株式会社 株式会社異設計コンサルタント	※河野 拓也 目山 直樹	100,000円
継続 令和4年度～	プリント基板のインピーダンスコントロール 前年度は抽出された基板パラメータを基にして各種平面回路の性能向上を行った。結果として次の知見が得られた。 ・ コイルのインダクタンスと損失の関係が分かった ・ 各種インピーダンス線路を組み合わせてアンテナを基板上に構成した また、図に示す通り基板を外注し測定を行った。基板上的コネクタパターン設計が不十分だったため、十分な測定精度が出なかった。本年度は外注基板のリワークを行う。さらに本校に導入されたレーザー基板加工機 (LPKF PhotoLaser H4) を用いた基板製造も行いたい。本年度はこれらの基板を用いて本研究会では引き続き次のことを議論したい。 ・ 各種モデリング (伝送線路、コネクタ、キャパシタ、ミランダ線路等) ・ 各種デエンベディング ・ メタルラフネスの影響調査 ・ 信号伝送の影響 (シグナルインテグリティ) ・ 18 GHzまでの測定による誘電率などの周波数依存性 ・ 各種平面回路の試作 本研究会による知見を活かして、コネクタ・伝送線路からなる高周波数製品の設計力向上を目的とする。	株式会社竹上電機商会 株式会社兼清電子	※片山 光亮 重村 哲至	100,000円
新規	社会人のための数学・物理学の学び直し研究会 社会ではDX化が進んでおり、AIやデータサイエンスが今まで以上に活用される時代となった。ICT、AIやデータサイエンスなどを業務に取り入れるためには、それらの基礎となる数学・物理学の知識を有する人材がいると進めやすい。そこで、社会人向けにDX化に関係する数学・物理学の学び直しの機会を提供する研究会を立ち上げる。	株式会社アイワテクノ 株式会社イソナガ	※飛車 来人 三浦靖一郎	100,000円
新規	多様性の共生を目指した就労支援技術研究会 令和6年度から障害者法定雇用率が2.5%に上がり、令和7年度から障害者雇用の除外率制度の引き下げが予定されており、これまで以上に障害者の活躍の場が増えつつある。また、社会ではDX化が進んでいる。そこで、ICTを活用した新しい障害者や高齢者の働き方を模索する研究会を立ち上げる。	株式会社アイワテクノ 株式会社東ソー	※三浦靖一郎 飛車 来人	100,000円

800,000円